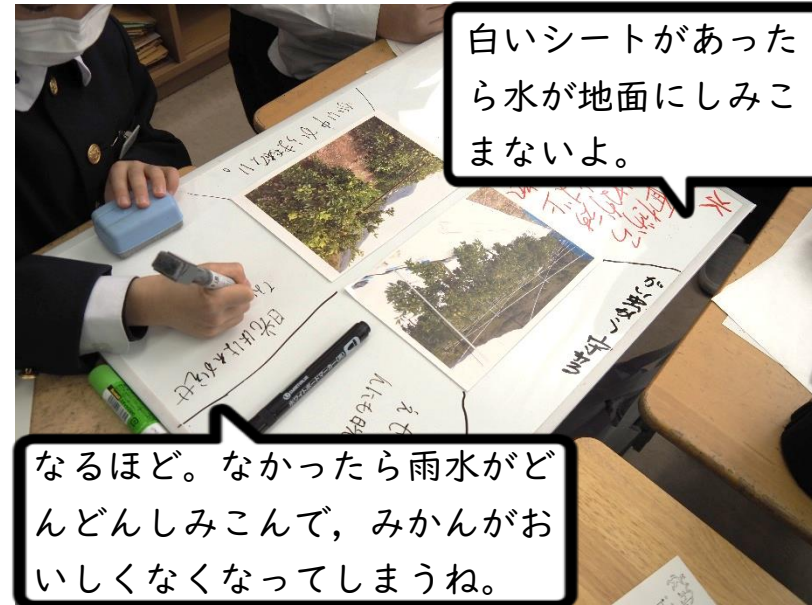


坂出市発、小原紅早生農家の仕事

学習指導者 たきい やすたか
滝井 康隆

本單元では、坂出市の特産品の一つであるみかん（小原紅早生）を生産する農家の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を明らかにしていきました。

本時では、農家がみかん農園に白いシートを敷いている理由を、白いシートの実物から分かったことや既習事項を使って考えました。その際、シートがある時とない時を比較しながらワークシートに記述していくことで、様々な理由を多面的に考えていきました。その後、意見を交流し、白いシートを敷くことで、みかんの木が吸収する水分を調整し、日光を効率よく当てることで、よりおいしいみかんを生産しようと工夫している農家の仕事の様子を捉えていきました。振り返り場面では、本時の学習活動に対する自己評価を基に、次時の課題を解決するための方法を選択していきました。



考察

- 考えをつくる際に、ワークシート等で複数の視点を明示することで、農家の工夫の意味を多様に考えようとする姿が多く見られた。
- 子供たちが、本時の思考活動に必要な認識をもつことができるよう、本時までに体験活動等で具体的な理解を深めておく。
- 班での話し合い活動において、意見を一つにまとめていくなど、明確な目標があると、話し合いが活発になったのではないかと。